

あいネットニュース

AI-NET NEWS



NPO 法人 あいネットワーク大分

〒870-0823 大分市東大道2丁目4番10号

TEL (097)574-8665 / FAX (097)574-8863

『第10回全国知的障害者施設家族会連合会 全国大会 in 愛知』に参加しました!!

昨年の10月21、22日の2日間、「知的障害を持つ人の生涯を考える！」その人に合った終の住処はどこですか？」をテーマに開かれた大会には全国から460人余、大分県からは20人の家族の皆さんが参加しました。先ず、情勢報告が行われ、大学の先生らによる鼎談、その後、9、10人の編成で49円卓に分けられ、それぞれで活発な意見交換が行われました。県内からの参加者のうち4人が各円卓の司会を務めるなど随所で活躍しました。翌日、10円卓からの意見発表を基に全員参加型の討論会が行われ、盛会のうちに閉会しました。



「職員さんらとタッグを組んで、より良い環境を作っていきたい」
園田重延さん
あいネットワーク大分副理事長

私はこれまで7回参加し、従来は大学の先生の講演を聴いて質疑応答などを行うというものでしたが、大人数の前で自分の意見を言うのはとても勇気がいるものです。しかし、今回のように10人ほどのグループであればザックパランに話が弾み、「どここの県でも悩みは同じ、みんな仲間な

んだ」と再確認でき、とても有意義なものとなりました。

大会は障がい者が終の住処に至るまでの幸せな生活環境を整えるために全施連、知施連、そして私たちは何をしたらいいのかを円卓を囲んで話し合いました。国は入所施設を減らしたいと考えて施策を進めており、今施設に入っている人たちは出なくても良いのですが、これから生まれてくるであろう障がいを持った人たちのためにいろいろなアクションを起こしていかななくてはという思いを一層強くしました。

今回の大会は保護者以外に施設の職員も多数参加しており、保護者と一緒になって多くの声を聞き共にレベルアップし利用者にとってより良い環境を作っていけたらと願っています。

「施設に頼り、任せっきりでではダメ、親が主役にならなければ！」

古原俊文さん
あいネットワーク大分理事

松山、神戸、北海道、そして今回4回目の参加となりましたが、障がいのある人たちを取り巻く環境はますます厳しくなると感じました。そのために私たちは施設に預けて安心しているのではなく、私たち自身、もっと勉強し施設と一緒に頑張って真剣に頑張っていかなければと思います。

講演の中で日本は2006年12月に国連総会で採択された「障害



者の権利に関する条約」（障がいに関するあらゆる差別を禁止することもに必要な配慮の提供を求めるもの）について2007年9月に署名をしたものの、批准に必要な国内法の整備に時間がかかり昨年1月ようやく批准したことを知り、遅れていることに驚きました。また親の年齢と障がいのある子どもの年齢を足して100歳になったらすべて国が面倒を見るという話も聞き大変感銘を受けました。

円卓を囲んで宮城、愛知、兵庫、高知などの方たちと話し合い、「施設経営者と保護者が同じ目標を持たなければいけない」、「施設職員の定着率が低い」、「介護保険の中に知的障がい者のジャンルを定めるべき」、「地域移行と言うのが地域の受け入れができていない」など様々な意見が交わされ爽り多いものとなりました。

